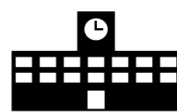


新潟県特別支援学校



職業技能検定
(清掃部門)
実施マニュアル

R2年度 改訂版



清掃技能検定実施上の規則、留意事項及び仕様等について

1 検定時間

各種目の検定時間は次の通りとする。

- ・自在ぼうき 6分
- ・モップ 8分
- ・ダスタークロス 8分
- ・掃除機 8分

※ 試技が順調に進んでおり、若干時間超過で完了できる見込みがあれば、審査員の判断により継続することも可能とする。ただし、時間を過ぎた分の評価は「×」となる。

2 服装

検査会場の更衣室で、受検者は作業に適した服装に着替える。

服装は、半袖または長袖シャツ、長ズボン、帽子（キャップ）着用とする。シャツはズボンの中に入れる。名札はなくても構わない。（着用する場合は、作業に影響がないように、首掛け式ではなく、安全ピン式を使用する）。

3 資機材

主催者または主催会場の職員が準備し、受検者はそれを使用する。ただし、各学校等で使用している資機材（自在ぼうき、モップ、ダスタークロス、掃除機に限る）が規格と合っている場合、受検時にそれを使用することを許可する。

また、資機材置場について、配置図通りに設けることが難しい場合は配置を変更しても良い。

※ 持参した資機材については、受付時に実行委員または審査員が点検をする。

※ 資機材が規格と合っていれば、受検者または引率職員が資機材を管理し、受検前に審査員に渡す。規格と合っていない場合、点検時に資機材を預かり、閉会式後返却する。その場合、受検者は主催会場が準備した資機材を使用する。

※ 以下を資機材の規格とする。

〈自在ぼうき〉

- ・毛幅約 4 6 cm ・柄は伸縮できるもの

〈モップ〉

- ・房糸幅約 2 3 cm 長さ約 2 1 cm
- ・柄は伸縮が可能で、房糸を取り外せるもの

〈ダスタークロス〉

- ・ダスターモップヘッド幅約 6 0 cm ・クロス幅約 6 3 cm 奥行約 2 0 cm
- ・柄は伸縮が可能で、ヘッドを取り外せるもの

〈掃除機〉

- ・ポット型掃除機。（P 2 0 説明図参照）
- ・掃除機上部に、本体移動のためのハンドルがついているもの。

4 作業の開始及び終了

- ・開始の指示は審査員が行う。審査員の「始めてください」の合図で、受検者は「〇〇番、△△特別支援学校（氏名）です。始めます。」と言って開始する。審査員は計測を開始する。
- ・使用した資機材を資機材置場に片付けて作業終了とする。
- ・作業が終了したら、受検者は「終わりました」と審査員に報告し、計測を終了する。

5 評価

評価票に基づき、2人審査員の合計点数により級を決定する。1人の持ち点を100点とし、減点方式で採点をする。

<点数・級対応表>

| 点数 | 0～ | 20～ | 40～ | 60～ | 80～ | 100～ | 120～ | 150～ | 170～ | 190～ |
|----|----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|
| 級 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

6 検定種目

(1) 自在ぼうき

- ①幅木により区画された2.4m×4mの範囲を試技コートとする。
- ②幅木の上には壁があるものとして作業を行う。
- ③作業は目に付く汚れだけでなく床面全体の汚れを除去する。

※テープを使用して試技コートを設定した場合

- ・試技中にごみを試技コートの外に出た場合、適切にごみを試技コート内に掃き入れて集める。

(2) モップ

- ①幅木により区画された4m×4mの範囲を試技コートとする。
- ②幅木の上には壁があるものとして作業を行う。
- ③試技コートにある机は移動させないこととする。

(3) ダスタークロス

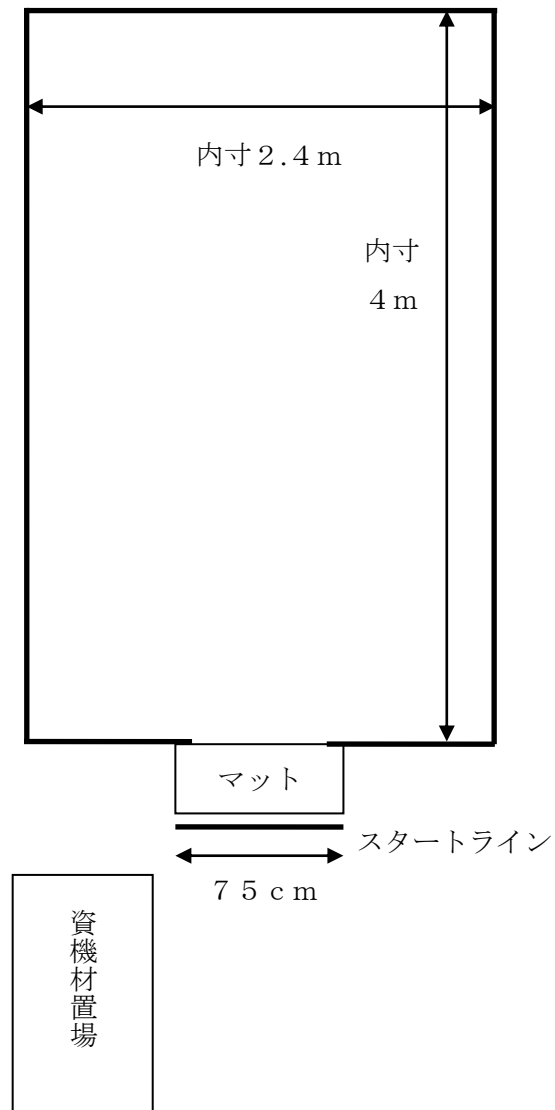
- ①幅木により区画された4m×4mの範囲を試技コートとする。
- ②幅木の上には壁があるものとして作業を行う。
- ③試技コートにある机は移動させないこととする。
- ④作業は目に付く汚れだけでなく床面全体の汚れを除去する。

(4) 掃除機

- ①検定はカーペット上で行う。幅木により区画された4m×4mの範囲を試技コートとする。
- ②幅木の上には壁があるものとして作業を行う。
- ③試技コートにある机は移動させないこととする。
- ④作業は目に付く汚れだけでなくカーペット面全体の汚れを除去する。

「自在ぼうき」 検定実技規則

1 自在ぼうき配置図



2 検定会場で必要な資機材等

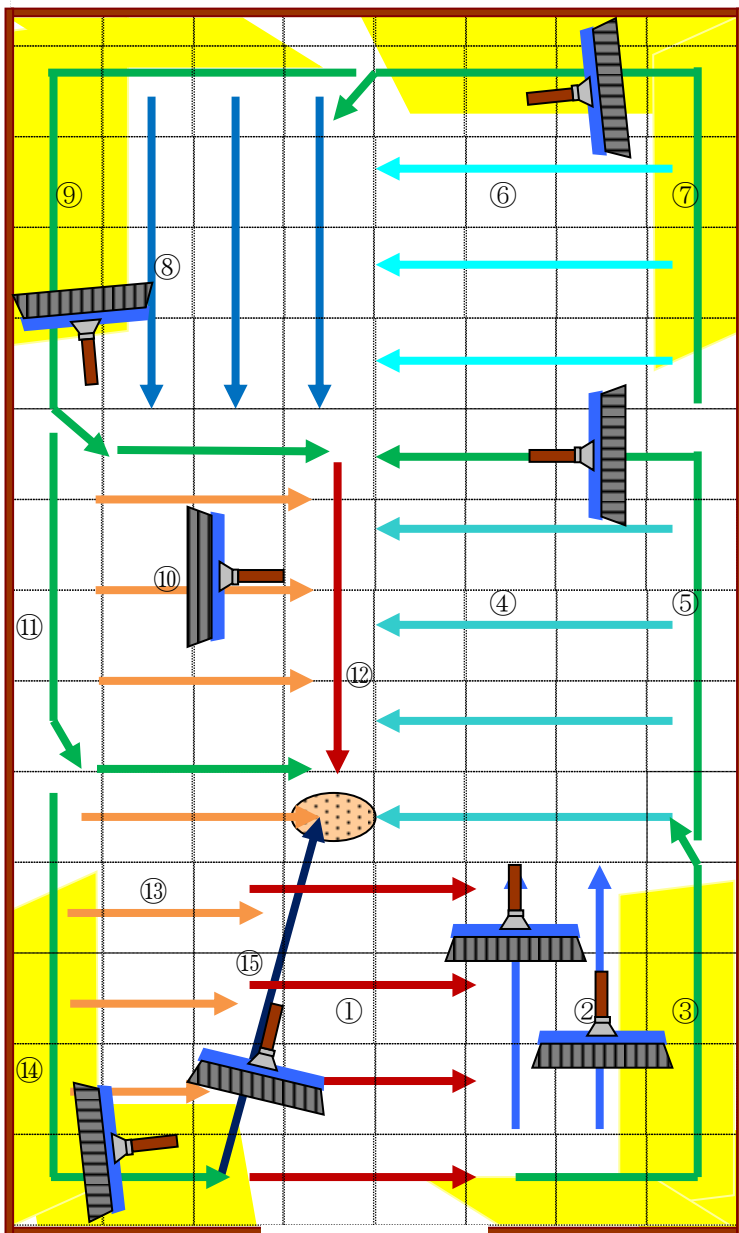
| 品名 | 寸法又は規格 | 数量 |
|-----------|------------------|----|
| 幅木 | 検定用幅木 | 1 |
| スタートライン | 赤テープ | 1 |
| マット | エコレインマット (グリーン) | 1 |
| シュレッダーごみ | 30ml~35ml | 1 |
| 机 (資機材置場) | 長机 | 1 |
| 作業表示板 | 検定用 | 1 |
| 自在ぼうき | 45 cm (柄が伸縮するもの) | 1 |
| 文化ちりとり | 標準ハンドル | 1 |


3 作業手順（制限時間 6分）

※受検者が資機材を持参している場合は、審査員が検定会場外（廊下）で資機材を受け取り、検定会場内の資機材置き場に置く。検定後、受検者は資機材を持って退出する。

| 作業工程 | 作業方法 | 補足事項 |
|--------------|---|--|
| 作業開始 | 所定のスタートラインに立ち「始めてください」の合図で作業開始を報告する。 | ・帽子をとって「〇〇番、△△特別支援学校（氏名）です。始めます。」と言って一礼する。 |
| 作業の準備・資機材の準備 | ①作業表示板を試技コートの外に立てる。 ②資機材置場から資機材を取る。 ③柄の長さを調整する。 | ・作業表示板は、出入りの邪魔にならず、かつ目立つ位置に立てる。 |
| 入室のあいさつ | ほうきを手に取り、出入口でフロア内に向かって入室のあいさつを行う。 | ・「失礼します」と言って一礼して入る。 帽子はとらなくてもよい。 |
| 掃き作業 | ① 入口に立ち ほうきの持ち手で、左手が上（右利き）の人は、反時計回りに掃き進める。右手が上（左利き）の人は、時計回りに掃き進める。 幅木際は、ほうきの毛先を使って掃き出す。 押さえ掃きで前進して掃き進む。 ② 最後はごみをまとめる。 | |
| 点検 | 自在ぼうきと文化ちりとりを持ち、ごみの取り残しがなにか四隅を点検する。 | ・ごみがなければ四隅に「よし」と言って確認する。 ・ごみがあった場合、自在ぼうきと文化ちりとりで取る。 |
| 退室のあいさつ | 出入口で室内に向かって退室のあいさつを行う。 | ・「失礼しました」と言って一礼する。 帽子はとらなくてもよい。 |
| 資機材の片付け | ① 資機材を資機材置場に戻す。 ② 作業表示板を資機材置場に戻す。 | |
| 作業終了のあいさつ | 所定のスタートラインに立ち作業終了を報告する。 | ・帽子をとって「終わりました」と言って一礼する。 |

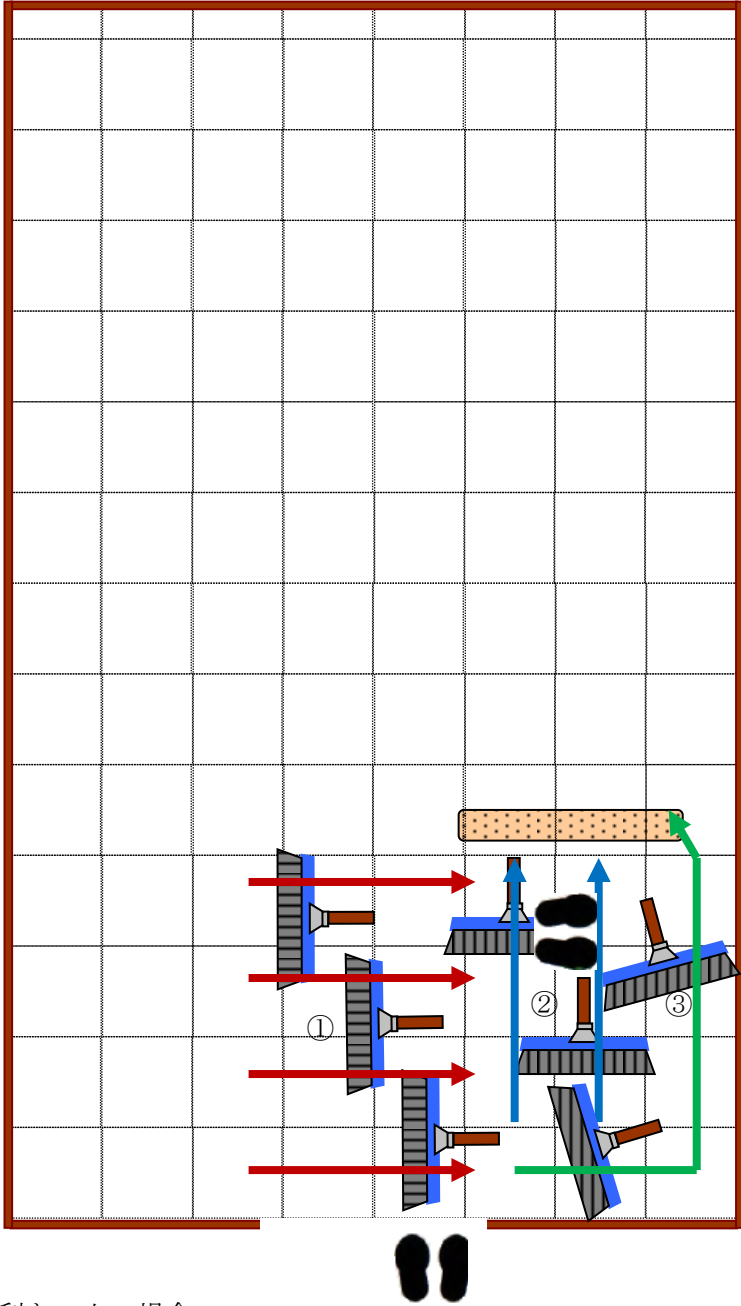
4 作業手順（図解）




 掃き集めるところ

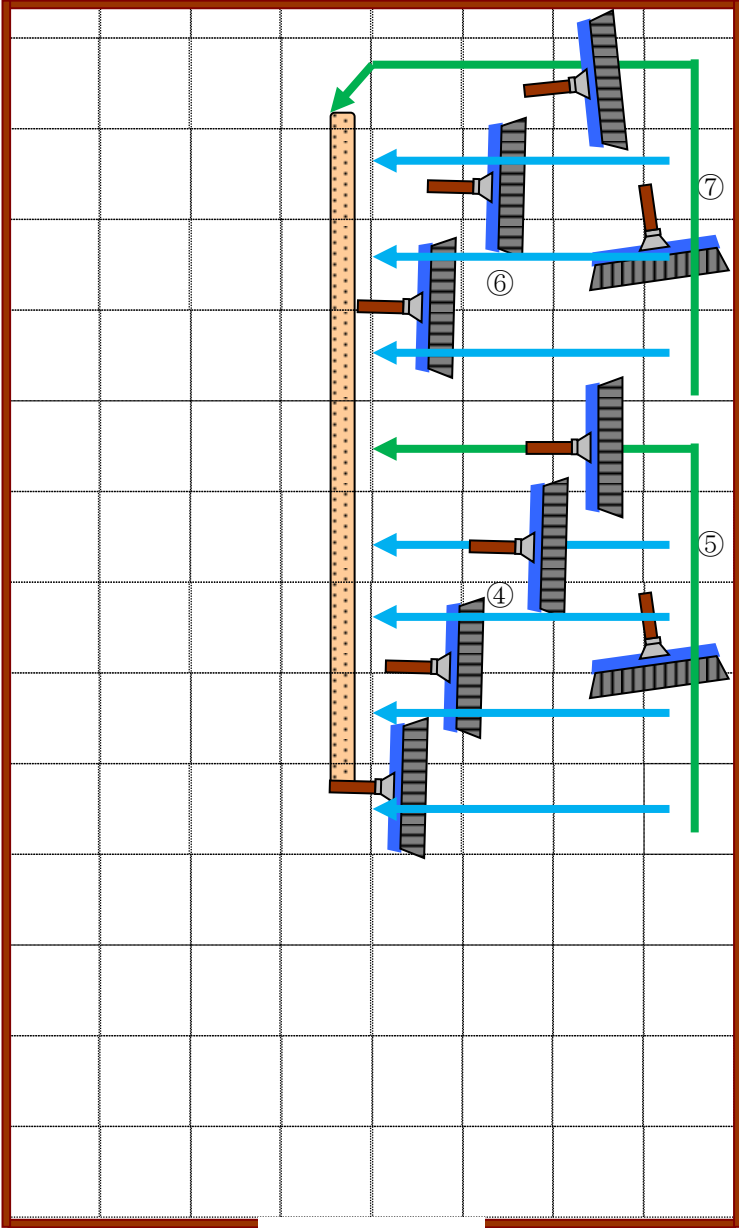
右利きの人の場合（反時計周り）


- ①⑫は、利き手でない方の持ち方で掃く。利き手と同様の掃き方が出来るかを見る。以降は利き手の持ち方で掃く。持ち替えた時、箒の掃き面が同じ面で行っているかを見る。
- ③箒の毛先を使って幅木に沿ってL字に掃く。
- ⑦⑨⑭も同様にL字に掃く。

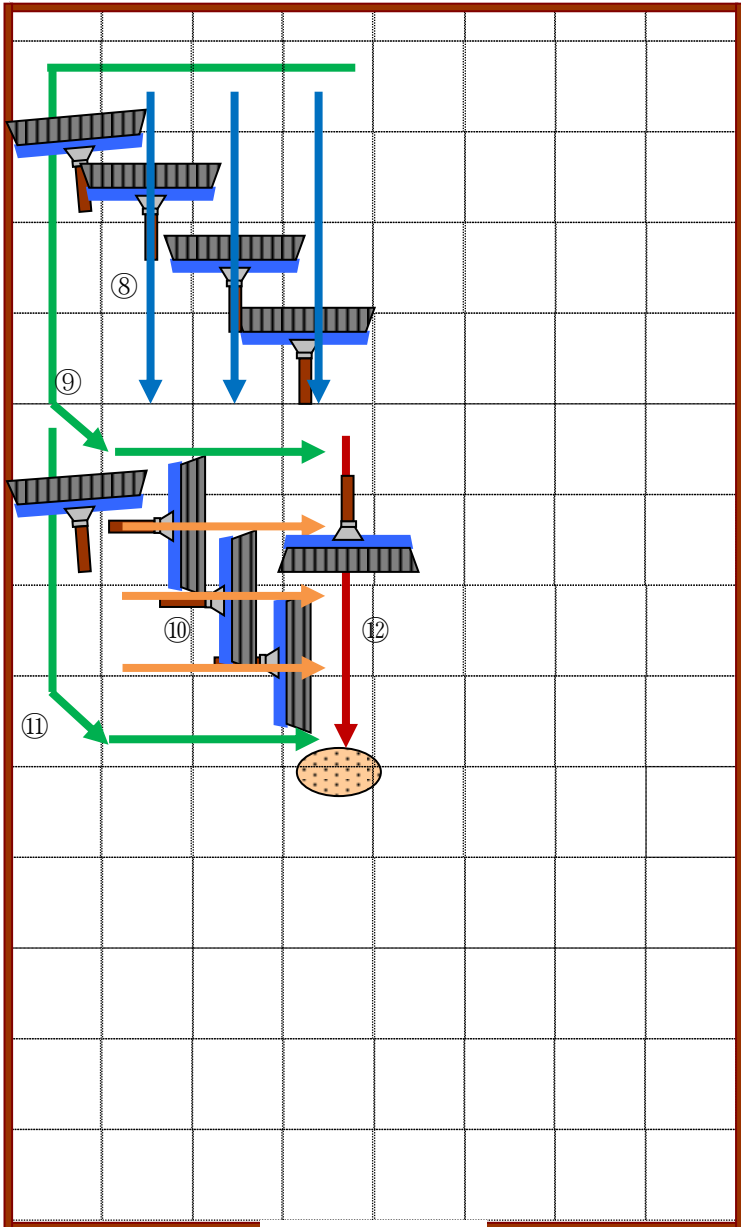




 掃き集めるところ

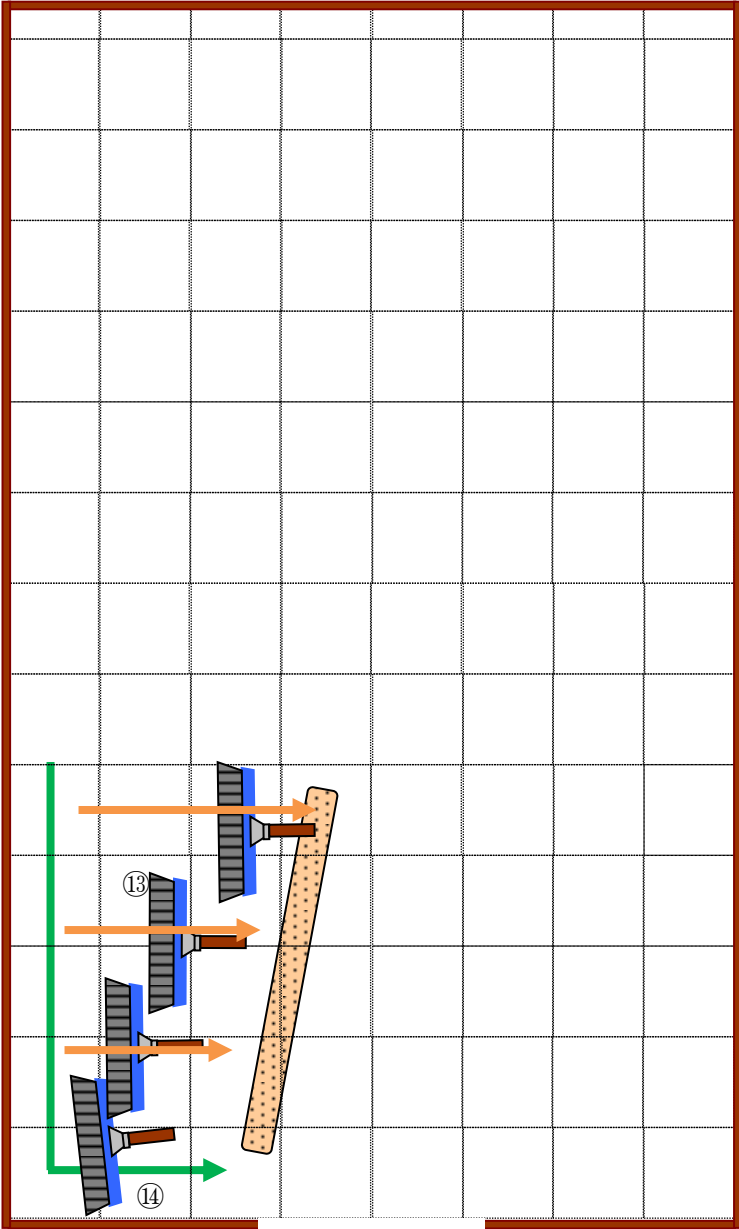
右利きの人の場合



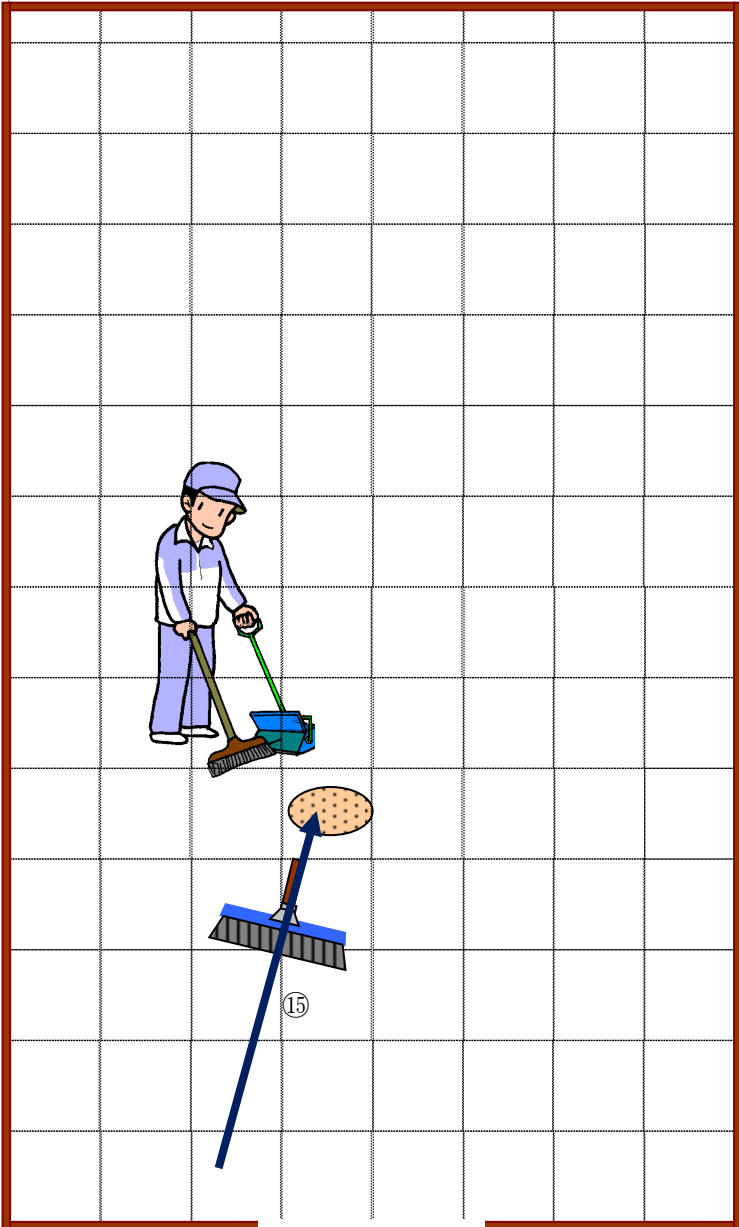
 掃き集めるところ



 掃き集めるところ



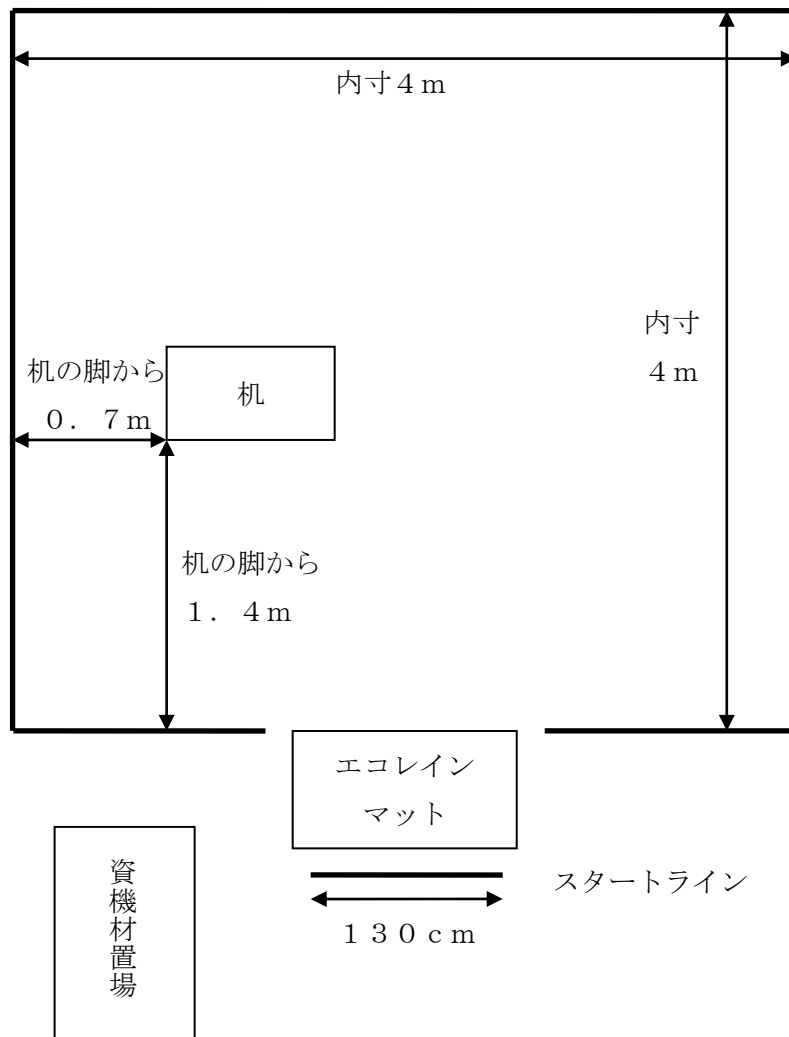
掃き集めるところ



掃き集めるところ

「モップ」 検定実技規則

1 モップ配置図



2 検定会場で必要な資機材等

| 品名 | 寸法又は規格 | 数量 |
|---------------|--------------------|----|
| 幅木 | 検定用幅木 | 1 |
| スタートライン | 赤テープ | 1 |
| 机 | およそ 65 cm × 45 cm | 1 |
| マット | エコラインマット (グリーン) | 1 |
| 机 (資機材置場) | 長机 | 1 |
| ポリバケツ (房糸洗浄用) | 10リットル用 水を約半分入れておく | 1 |
| 作業表示板 | 検定用 | 1 |
| 柄 | 伸縮 | 1 |
| 房糸 (白) | 幅約 23 cm 長さ約 21 cm | 1 |

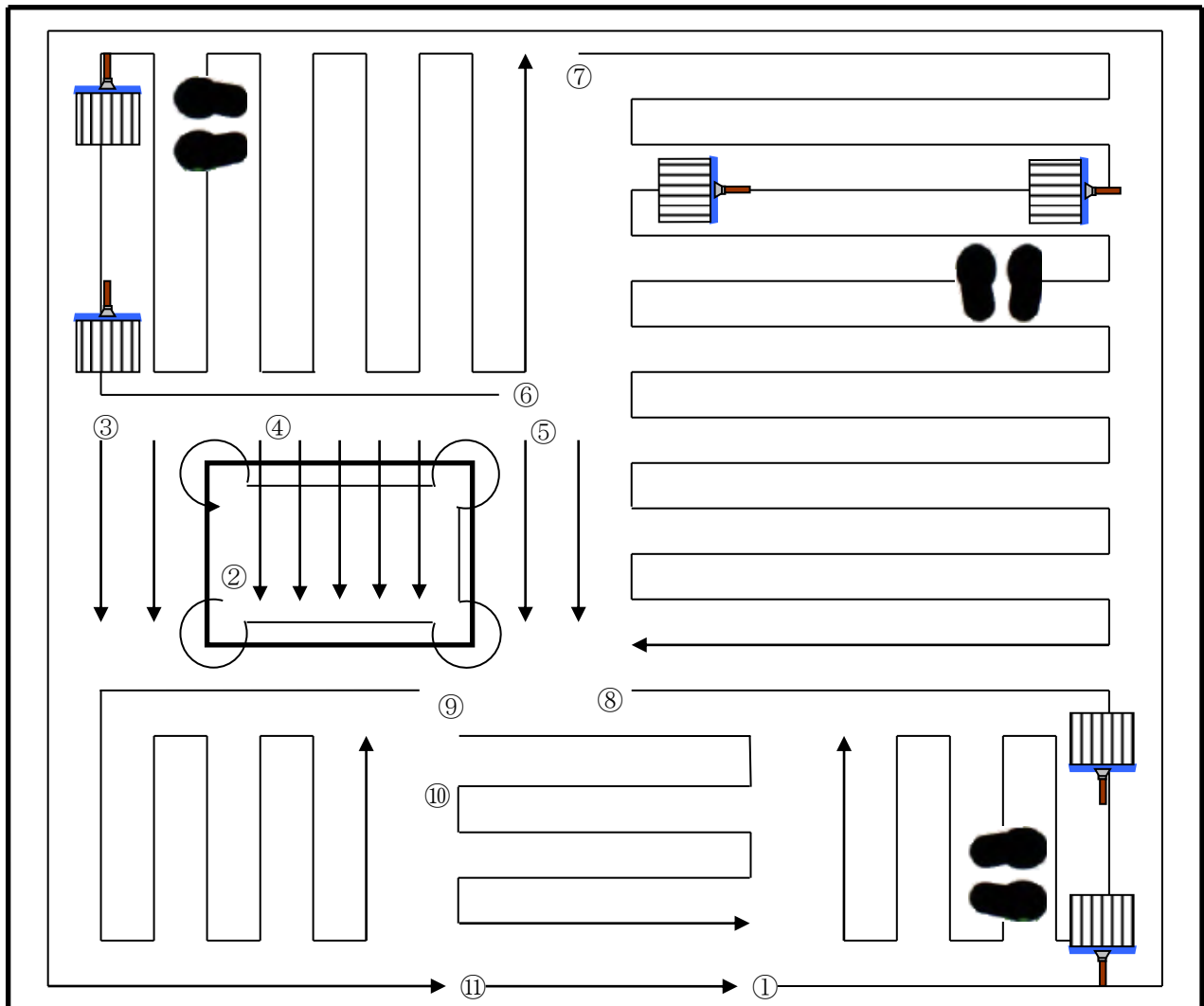
3 作業手順（制限時間 8分）

※受検者が資機材を持参している場合は、審査員が検定会場外（廊下）で資機材を受け取り、検定会場内の資機材置き場に置く。検定後、受検者は資機材を持って退出する。

| 作業工程 | 作業方法 | 補足事項 |
|------------------|--|--|
| 作業開始 | 所定のスタートラインに立ち「始めてください」の合図で作業開始を報告する。 | ・帽子をとって「〇〇番、△△特別支援学校（氏名）です。始めます。」と言って一礼する。 |
| 作業の準備・ 資機材の準備 | ① 作業表示板を試技コートの外に立てる。 ② 資機材置場から資機材を取る。 ③ バケツで房糸を洗って絞る。 ④ 房糸と柄を手に取り、マット上で房糸を取り付ける。 ⑤ 柄を使いやすい長さに調節する。 | ・作業表示板は、出入りの邪魔にならず、かつ目立つ位置に立てる。 ・房糸絞りや取り付けは片膝立ちの姿勢で行う。 |
| 入室のあいさつ | モップを持ち、出入口でフロア内に向かって入室のあいさつを行う。 | ・「失礼します」と言って一礼して入る。 帽子はとらなくてもよい。 |
| 拭き作業 | ① 幅木内周を反時計回りにふく。 ② 机の脚周りをふき、机の右側、机の下、60cm以上、机の左側の順にふく。机の下をふくときは押しふきをする。 ③ モップを横向きに後退しながらふく。 ④ 向きを変えるごとにモップを裏返す。 | ・柄の先端に親指を添える。 ・コーナー、机の脚周りは房糸に手を添えてふく。 ・幅木、机の脚部に房糸が触れないようにする。 ・中央をふくときは、柄の上を持つ手側に体を寄せる。 ・ふいたところを踏まないようにする。 ・ふき残し、ふきむらのないようにする。 |
| 点検 | 入口に立って、ふき残しがどうか点検する。 | ・ふき残しがあった場合、原則やり直しはできないが、やり直す場合はその部分から作業をやり直す。 |
| 退室のあいさつ | 出入口で室内に向かって退室のあいさつを行う。 | ・「失礼しました」と言って一礼する。 帽子はとらなくてもよい。 |
| 資機材の片付け | ① 房糸と柄をマット上ではずし、資機材置場に戻す。 ② 作業表示板を資機材置場に戻す。 | |
| 作業終了のあいさつ | 所定のスタートラインに立ち作業終了を報告する。 | ・帽子をとって「終わりました」と言って一礼する。 |

4 作業手順 (図解)

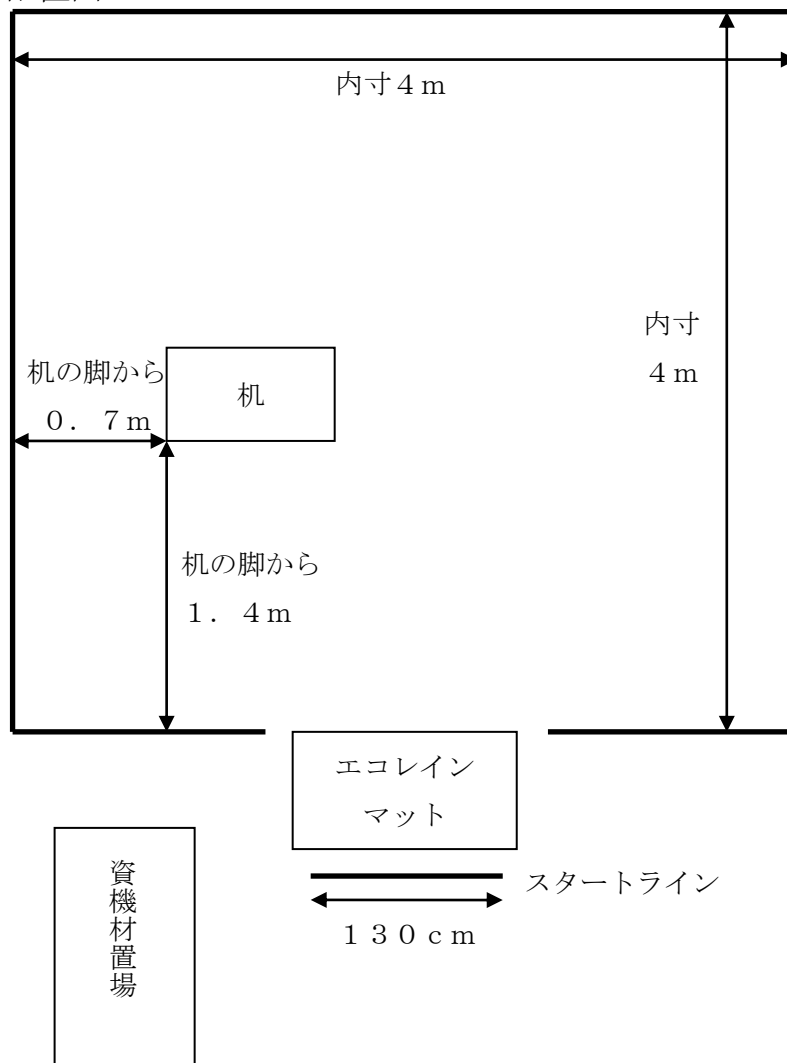
中央部分 利き手側に体を寄せる。(右利きの場合の立ち位置)



※③④⑤は縦ぶき (押しぶき)

「ダスタークロス」 検定実技規則

1 ダスタークロス配置図



2 検定会場で必要な資機材等

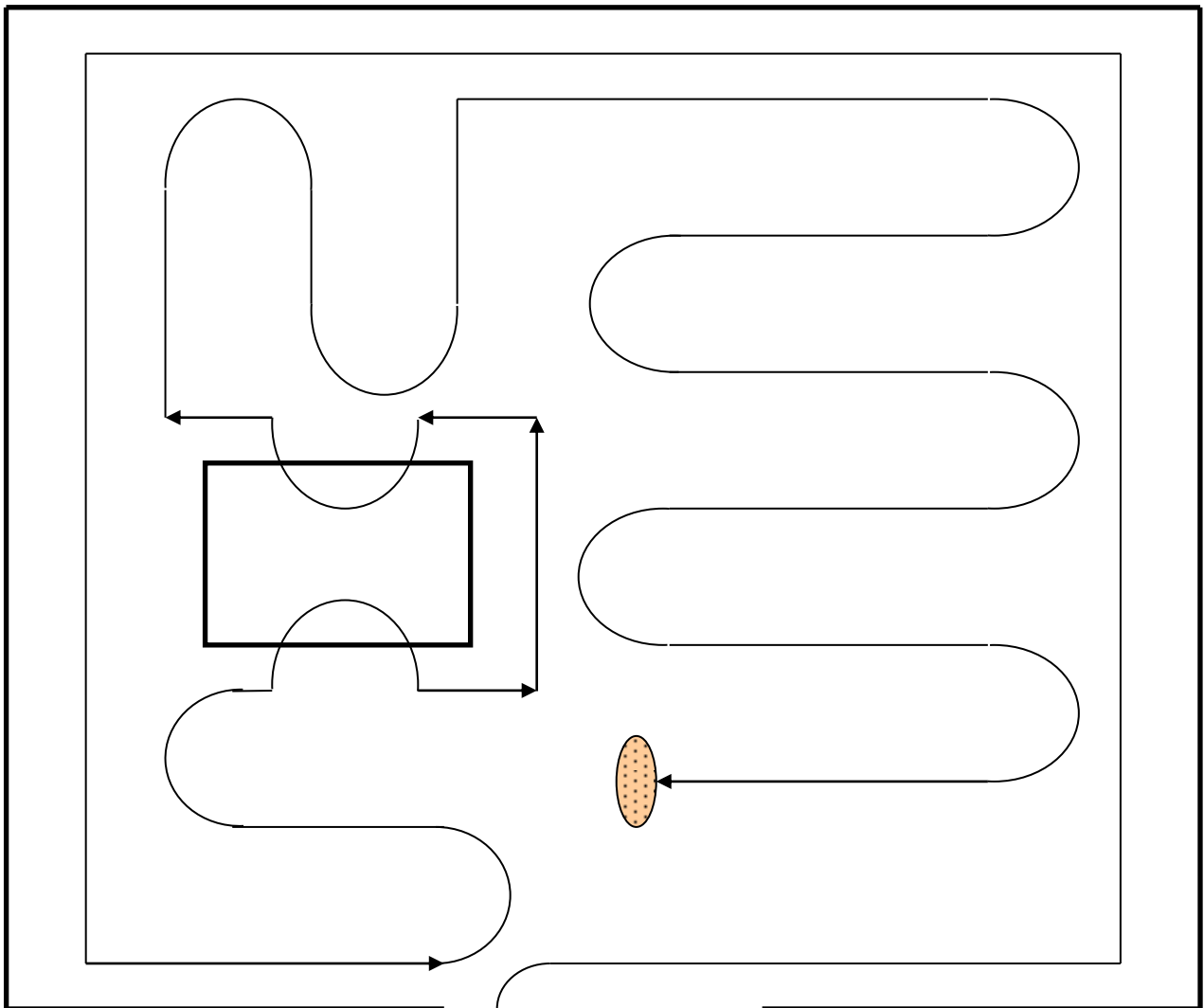
| 品名 | 寸法又は規格 | 数量 |
|------------|---------------------|----|
| 幅木 | 検定用幅木 | 1 |
| スタートライン | 赤テープ | 1 |
| 机 | 約 65 cm × 45 cm | 1 |
| マット | エコレインマット (グリーン) | 1 |
| 机 (資機材置場) | 長机 | 1 |
| シュレッダーごみ | 30ml~35ml | 1 |
| ごみ箱 | | 1 |
| 作業表示板 | 検定用 | 1 |
| 柄 | 伸縮 | 1 |
| ダスタークロスヘッド | 約 63 cm | 1 |
| クロス | ダスタークロスヘッドの大きさに合うもの | 1 |
| 自在ぼうき | 毛幅約 46 cm | 1 |
| 文化ちりとり | 標準ハンドル | 1 |

3 作業手順（制限時間 8分）

※受検者が資機材を持参している場合は、審査員が検定会場外（廊下）で資機材を受け取り、検定会場内の資機材置き場に置く。検定後、受検者は資機材を持って退出する。

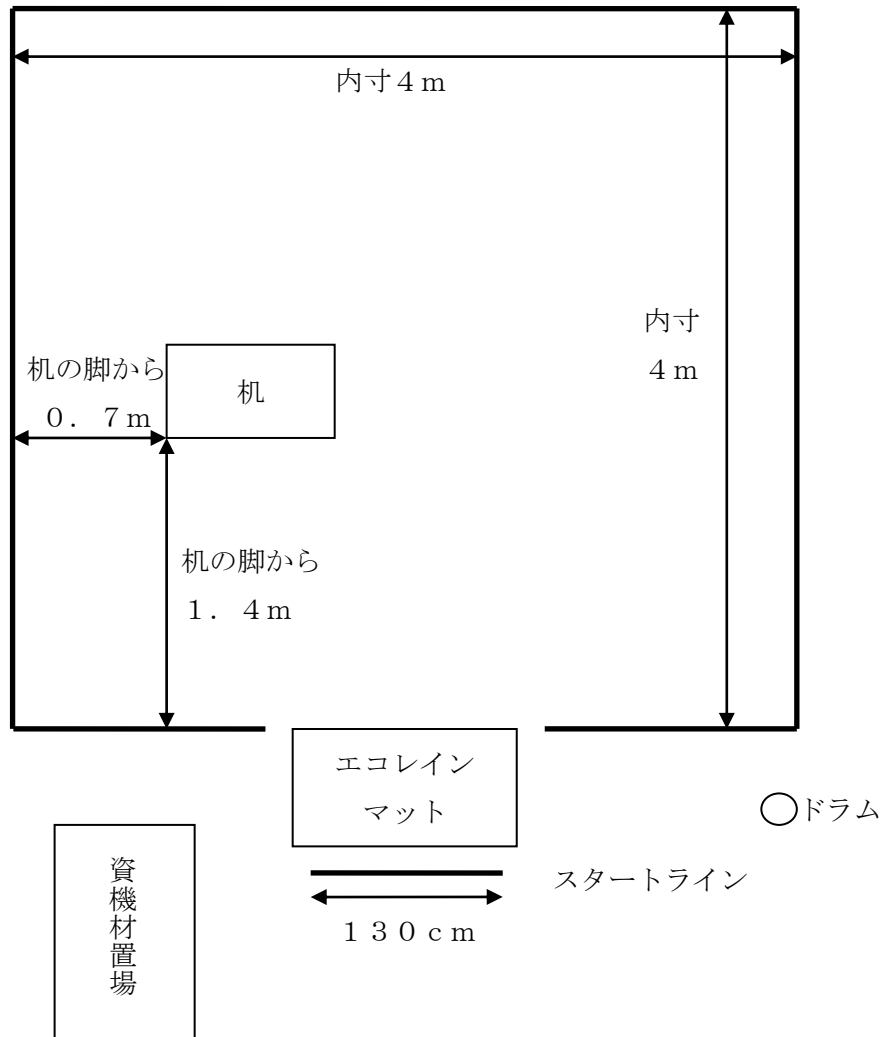
| 作業工程 | 作業方法 | 補足事項 |
|--------------|---|---|
| 作業開始 | 所定のスタートラインに立ち「始めてください」の合図で作業開始を報告する。 | ・帽子をとって「〇〇番、△△特別支援学校（氏名）です。始めます。」と言って一礼する。 |
| 作業の準備・資機材の準備 | ① 作業表示板を試技コートの外に立てる。 ② 資機材置場から資機材を取る。 ③ ダスタークロスヘッドにクロスを装着する。 ④ ヘッドと柄を手に取り、マット上でヘッドを柄に取り付ける。 ⑤ 柄を使いやすい長さに調節する。 | ・作業表示板は、出入りの邪魔にならず、かつ目立つ位置に立てる。 ・文化ちりとりと自在ぼうきは使用するときを持ち出す。あらかじめ用意するときは、入口付近の邪魔にならないところに置く。 ・片ひざ立ちの姿勢で取り付ける。 |
| 入室のあいさつ | ダスタークロスを持ち、出入口でフロア内に向かって入室のあいさつを行う。 | ・「失礼します」と言って一礼して入る。 帽子はとらなくてもよい。 |
| 掃き作業 | ① ダスタークロスを持ち、外から出入口を除塵しフロアに入る。 ② 出入口より奥に向かって幅木側、机の下、中央部へと順に作業を行う。 ③ 前進しながら出口に向かって1箇所を集める。 ④ ダスタークロスヘッドを柄から外す。 ⑤ 使用済みのクロスを手でダスタークロスヘッドから外す。 ⑥ ダスタークロスヘッドと柄を資機材置場に戻す。 ⑦ 自在ぼうきと文化ちりとりを持ち、集めたごみを取る。 | ・柄の先端に親指を添える。 ・ごみを踏まないように広めに足場を確保する。 ・ダスタークロスは後退させない。 ・クロスの手作業面を内側にして折りたたむ。 ・使用済みのクロスはごみ箱に捨てる。 ・道具をぶつけないようにして持つ。 |
| 点検 | 自在ぼうきと文化ちりとりを持ち、ごみの取り残しがないか四隅、机の下を点検する。 | ・ごみがなければ四隅に「よし」と言って確認する。 ・ごみがあった場合、自在ぼうきと文化ちりとりで取る。 |
| 退室のあいさつ | 出入口で室内に向かって退室のあいさつを行う。 | ・「失礼しました」と言って一礼する。 帽子はとらなくてもよい。 |
| 資機材の片付け | ① 資機材を資機材置場に戻す。 ② 作業表示板を資機材置場に戻す。 | |
| 作業終了のあいさつ | 所定のスタートラインに立ち作業終了を報告する。 | ・帽子をとって「終わりました」と言って一礼する。 |

4 作業手順 (図解)



「掃除機」 検定実技規則

1 掃除機配置図





2 検定会場で必要な資機材等

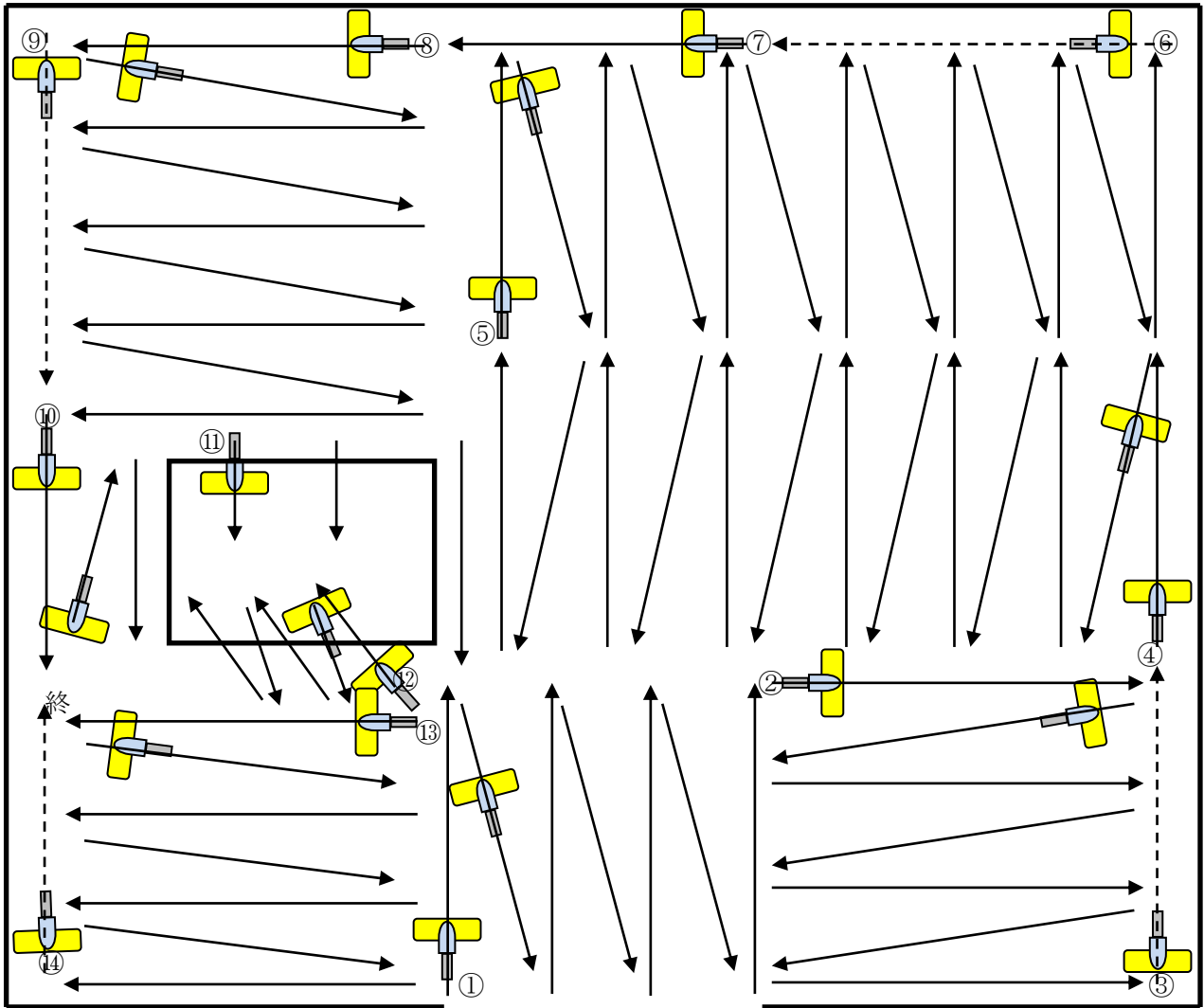
| 品名 | 寸法又は規格 | 数量 |
|----------|-----------------|----|
| 幅木 | 検定用幅木 | 1 |
| スタートライン | 赤テープ | 1 |
| 机 | およそ65cm×45cm | 1 |
| マット | エコレインマット (グリーン) | 1 |
| ポット型掃除機 | 上にハンドルがあるもの | 1 |
| シュレッダーごみ | 約50ml | 1 |
| 作業表示板 | 検定用 | 1 |
| カーペット | 4m×4m | 1 |
| ドラム | 電源用 | 1 |
| ごみ箱 | 取り除いたごみを入れる | 1 |

3 作業手順（制限時間 8分）

※受検者が掃除機を持参している場合は、審査員が検定会場外（廊下）で受け取り、検定会場内の資機材置き場に置く。検定後、受検者は掃除機を持って退出する。

| 作業工程 | 作業方法 | 補足事項 |
|--------------|---|--|
| 作業開始 | 所定のスタートラインに立ち「始めてください」の合図で作業開始を報告する。 | ・帽子をとって「〇〇番、△△特別支援学校（氏名）です。始めます。」と言って一礼する。 |
| 作業の準備・資機材の準備 | ① 作業表示板を試技コートの外に立てる。 ② 資機材置場から掃除機を入口前に運ぶ。 ③ 掃除機の電気コードのプラグをコンセントに差し込む。 ④ スイッチを入れ、風量があるか、手を当てて確認する。 ⑤ スイッチを切って、停止する。 | ・作業表示板は、出入りの邪魔にならず、かつ目立つ位置に立てる。 ・ノズルの吸い込み口を上向きにして置く。 ・プラグをもって差し込むこと。  |
| 入室のあいさつ | 出入口でフロア内に向かって入室のあいさつを行う。 | ・「失礼します」と言って一礼して入る。 ・帽子はとらなくてもよい。 |
| 吸塵作業 | ① 室外から入口を吸塵し、室内に入る。 ② 右柵側⇒中央部⇒奥柵側⇒机の下・脇⇒机の下・左柵側の順に吸塵作業を進める（作業手順図解参照）。 ③ 吸塵作業後スイッチを切り、掃除機を停止させる。 ④ 掃除機を室外に出し、コンセントからプラグを抜く。 | ・ごみを踏まないように、前進しながら吸塵作業を行う。 ・本体は、ハンドルをもって、転がすか持ち上げながら移動させる。 ・ノズルを柵に当てないようにする。 ・机にノズルやホースをぶつけない。 ・ノズルの吸い込み口を上向きにして置く。 ・プラグをもって抜く。 |
| 点検 | 入口から入り、四隅を指差し、目視点検でごみの無いことを確認する。 | ・四隅は「よし」と言って確認する。 ・ごみ残しがあった場合、手で取って、ゴミ箱に捨てる。たくさんのごみがあれば、その部分の作業をやり直す。 |
| 退室のあいさつ | 出入口で室内に向かって退室のあいさつを行う。 | ・「失礼しました」と言って一礼する。 ・帽子はとらなくてもよい。 |
| 資機材の片付け | ① 本体側からコードを輪にして巻く。 ② 掃除機を保管場所に戻す。 ③ 作業表示板を保管場所に戻す。 | ・コードは次に使いやすいように、捻じれないよう、30cmくらいの輪にして巻く。  |
| 作業終了のあいさつ | 所定のスタートラインに立ち作業終了を報告する。 | ・帽子をとって「終わりました」と言って一礼する。 |

4 作業手順 (図解)

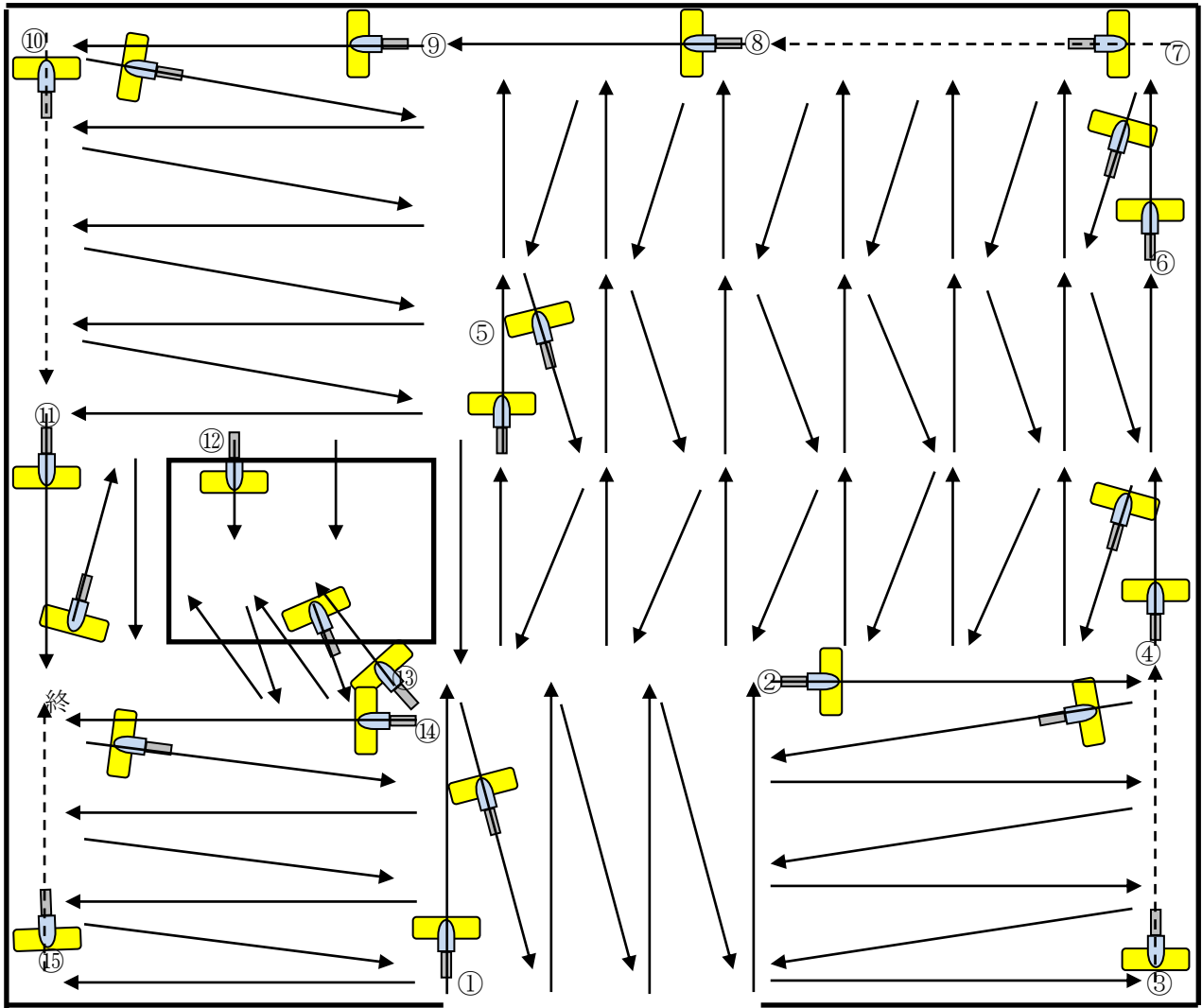


※③⑥⑨⑭は掃除機を引くようにかける。

※掃除機本体位置を動かす回数は適宜行って構わない。



◎身長が低い場合など、数回に分けて掃除機を掛けてもよい



※③⑦⑩⑮は掃除機を引くようにかける。

※掃除機本体位置を動かす回数は適宜行って構わない。